

## 研究・調査報告書

報告書番号	担当
406	独立行政法人酒類総合研究所
題名 (原題/訳)	
<p>Motor performance during and following acute alcohol intoxication in healthy non-alcoholic subjects.</p> <p>アルコール依存症ではない健康な被験者の急性アルコール摂取中・後における運動能力</p>	
執筆者	
Poulsen MB, Jakobsen J, Aagaard NK, Andersen H.	
掲載誌 (番号又は発行年月日)	
Eur J Appl Physiol. 2007 Nov;101(4):513-23.	
キーワード	
アルコール、運動能力、筋力	
要 旨	
<p>慢性的なアルコールの濫用は骨格筋に様々な影響を与え、慢性アルコール依存症患者では筋力の減少が頻繁に見られる。本研究では 19 名のアルコール依存症ではない健康な被験者（男性 9 名、女性 10 名）を用い、急性的な中程度のアルコール摂取の運動能力への影響を調べた。無作為化二重盲検比較試験で被験者にアルコールを含むジュースと含まないジュースを与え、ジュース摂取前、摂取中、摂取後 24・48 時間に等尺性・等縮性筋力と耐久性を調べた。性別、年齢、身長、体重、体水分量、呼気アルコール濃度等から考慮し、血中アルコール濃度が 32.6mmol/L になるようにアルコールを摂取させた。この結果、アルコール未摂取状態と比較して、アルコール摂取中・後に等尺性・等縮性筋力の変化は見られなかった。また、中枢運動経路の活性化や筋繊維の状態を示すクレアチンキナーゼにもアルコール摂取と未摂取で違いが見られなかった。以上より、中程度のアルコール摂取では運動能力や運動誘発性の筋損傷は見られないことがわかった。</p>	